

安全に暮らせる  
まちづくり委員会

委員長 菊池亮佑（菊池北中）  
書記 松本早弥香（泗水中）

井野晃司議員（菊池北中）

質問▼不法投棄や歩道の除草及び枝落しとの計画について教えてください。

答弁▼現在は不法投棄の監視パトロール事業を新市全域に広げるなど不法投棄の防止に努めております。また、市には、菊池市美しいまちづくり条例がありますので、皆様のご協力をお願いします。また、歩道の除草及び枝落しとの計画については、市道の幹線道路は業務委託し維持監理を行っています。その他の市道については、区において人築等で行って頂くようお願いしているところです。

中田竜馬議員（菊池南中）

質問▼どこでどのようなリサイクルが行なわれているか教えてください。また、リサイクルの費用や新市のゴミの出し方について教えてください。また、菊池市でフリーマーケットを開くことは可能でしょうか。

答弁▼リサイクルがどのように行なわれているか、旧菊池市の分別で説明しますと、主にビールやお酒が入っていたビン、酒類製造会社に引き渡され

キズなどのないものをきれいに洗浄して再使用されます。透明ビンは熊本市の、茶色ビンは、岐阜県のビン引取業者で茶色ビンの原料に、その他色ビンは、大分県のビン引取業者で道路舗装用の原料になります。アルミ缶、スチール缶・古紙・古布は、資源物引取業者に引渡し、それぞれアルミ・スチール製品の原料、様々な紙類・紙製品の原料、生産工場等の機械類の掃除用布や自動車の敷布などになっています。旧菊池市の平成16年度の予算では、約3,400万円となっております。現在のごころ施設、方法、場所等の違いという問題があり分別の仕方は旧市町村のままとなっています。今後は、新市で統一した分別収集ができるよう検討して参りたいと考えています。フリーマーケットにつきましては、毎年社会福祉協議会で行われております。

濱上 渚議員（七城中）

質問▼菊池市全体の被災マップはありますか。市全体でどのくらい避難場所がありますか。避難場所をどのように市民に知らせていますか。防災対策で新市になって変わったところはありますか。

答弁▼現在、新市に合った防災マップを関係機関と協議中であ

り、作成予定であります。避難場所につきましても、現在、新市で指定している公共施設等は、55カ所としております。次に、避難場所の周知方法ですが、今年9月に市全域の区長さんに防災ハンドブックを配布しています。今後は、防災マップの作成や、広報きくち、菊池市ホームページ等を利用して、防災情報を市民の皆様へ周知をしたいと思いますと考えております。新菊池市の防災対策として、菊池

市防災会議条例や、災害対策本部条例などを制定しております。これらは合併前も旧市町村でそれぞれ条例、地域防災計画を策定して実施してまいりましたので、大きな変更はありません。

渡辺大祐議員（旭志中）

質問▼地域が広がり介護が充分にいき届かなくなったということとはありますか。

答弁▼旧市町村の役所や役場が総合支所として残されており、地元で相談や手続きができれば、福祉サービスは同じところで同様のサービスが受けられるようになっております。更に新市では、これまで自分の市や町や村で行われていなかったサービスも受けられますし、新市内の各高齢者施設も自由に利用できるようなりまして、



安全に暮らせるまちづくり委員会

た。

白木 覚議員（泗水中）

質問▼地域を循環するバスを復活させて欲しいと思います。（旧泗水町）

答弁▼市街地をめぐる巡回バス「べんりカー」は、1便あたり約11名の利用と他の導入市町村と比較し、市民の皆さまの利用がかなり高いようです。現在、旧泗水町で行われた巡回バスを含めて、新しい菊池市の全体的な交通体系の確立を目指し、住民サービスを向上させるよう、また行政の財政的な負担は少ないよう、あらゆる方向から検討を行っているところです。

松本早弥香議員（泗水中）

質問▼学校にエレベーターを設置して欲しいと思います。

答弁▼すでに、肢体不自由児童を設置している学校には、エレベーターやスロープ、多目的トイレを設置するなど改善を行っておりますが、現在、市内19校全部の学校には未だ至っておりません。限られた予算でありますので、必要に応じて、計画的に実施しているところであります。

代表質問

お互いが大切にされるまちづくり委員会（中稜香委員長「泗水中」）

質問▼菊池から教員の採用の予定があるかどうか教えてください。

答弁▼現在の公立学校に採用される教職員につきましては、熊本県教育委員会で行っています。従って、各市町村が独自に採用できる教員というのは、臨時的な補助教員に限られ、その採用期間は一年間です。菊池市で採用できる補助教員につきましては、採用の目的に沿った人材の確保に努めるとともに特色ある学校づくりを目指し、より皆さんの学校生活が充実できるように計画的に採用していきたいと考えています。

魅力あるまちづくり委員会（野田修平委員長「七城中」）

質問▼合併して農村地帯が増えたので、農業を潤すことにお金を使ったかどうか。また、地域の特産物を利用した商品開発のために、お金を援助したかどうか。

答弁▼農業振興の取り組みについて本年度は、国・県補助事業による施設園芸のハウスリース事業や、水稲防除用無人ヘリ導入事業などの農業近代化施設整

備事業に約2億6,400万を予算化し計画しています。今後、もより一層の情報の発信を行い、「菊池ブランド」の構築に向け、皆さん方の発想やアイデアも取り入れながら今後の農業振興を図りたいと考えております。

安全に暮らせるまちづくり委員会（菊池亮佑委員長「菊池北中」）

質問▼現在、菊池市内にある福祉施設の利用者数と福祉施設を利用しにくい地域を教えてください。また、そういった地域の対策も教えてください。新たに、福祉施設を作る計画の内容を教えてください。中学生に出来る福祉活動を行いたいので、地域福祉基本構想を示して下さい。

答弁▼現在、菊池市には、養護老人ホームとして2施設、特別養護老人ホームとして「つまごめ荘」の施設があり、養護老人ホームでは、併せて100人、特別養護老人ホームでは120人の方が利用できるようになっております。また、自宅から事業所に通って、日帰りで介護サービスを受けられたり、自宅に居てホームヘルパーなどの介護サービスを受けられる利用者が、年間延べ14,016名おられます。交通の手段をもたれない皆さん方につきましては、旧菊池管内で便利カーや相乗りタクシーなどの運行が行わ

れ、有効な移動手段として活用されています。

新たに福祉施設を作る予定は、菊池と旭志の老人福祉センターが老朽化しておりますので、バリアフリー化で木材を利用した温もりのある施設とするよう計画を検討しているところであります。また、特別養護老人ホーム「つまごめ荘」につきましては、今年からその計画が行われ、平成19年度に新しい姿の全容をみなさんに見せることが出来ると思います。高齢者福祉に関する基本構想は、介護予防に重点をおくとともに、介護が必要となられた方が出来るだけ住み慣れた地域で生活できるように方向性を示していくことになると思います。中学生にも出来る福祉活動はないでしょうか？という質問に対しましては、身近に出来るサービスやボランティアはたくさんあると思いますので、出来ることから無理なく少しずつ行っていたらいいと思います。



議事堂での代表質問